

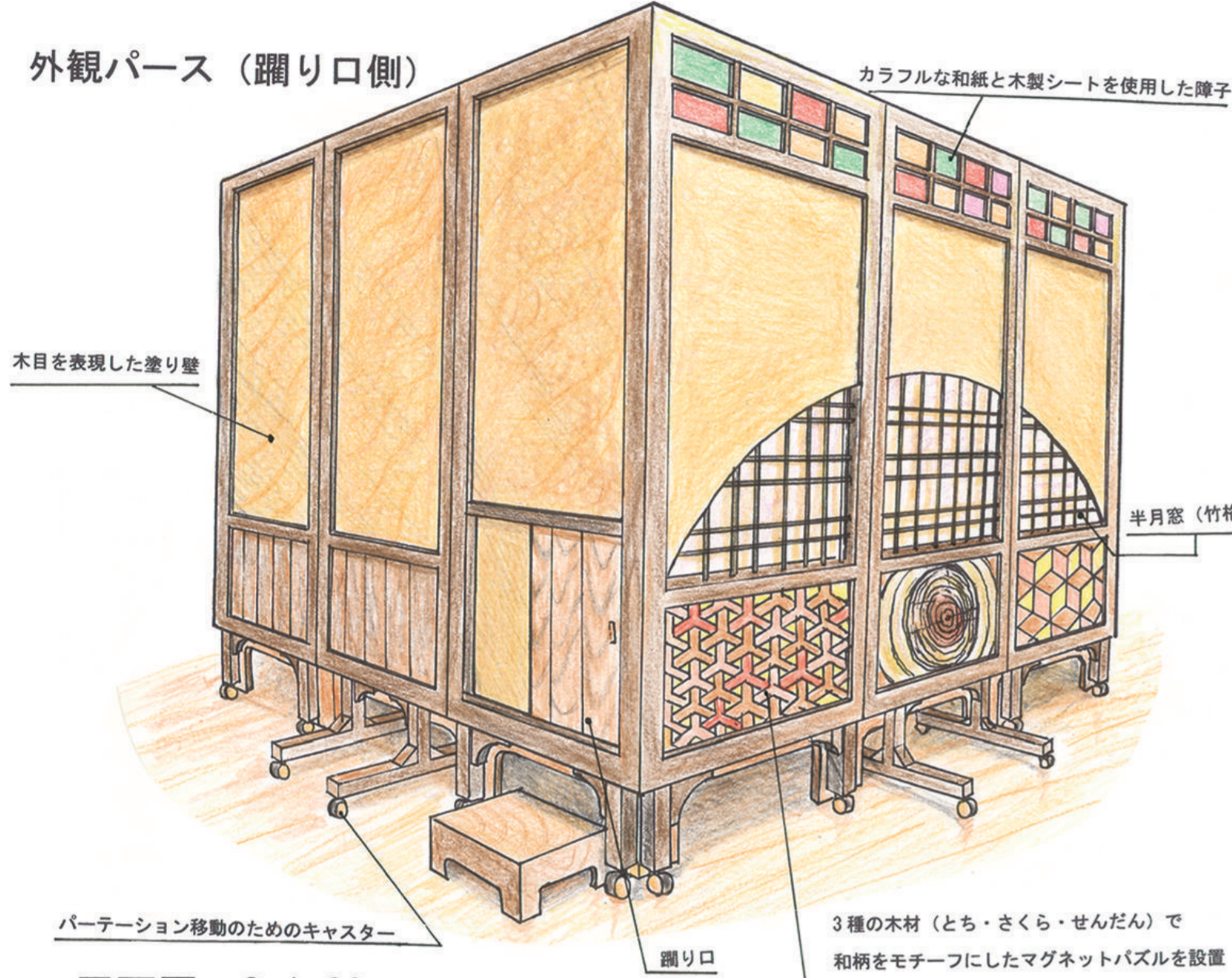
どこか一般的な日常から離れた、特別な空間になってしまっているような感覚がある現代の茶室。そんな茶室を園児たちにより身近に感じてもらうために、茶室としての役割を超えた空間にできないかと考えた。

床は9つの畳ユニット、壁面は4台の木製パーテーションで構成された茶室空間。各パーツの組み合わせを変えることで、茶室としてだけでなく、書道や華道といった日本文化を学んだり、節句行事での展示会や園での日常の活動、先生と保護者との交流の場など、さまざまなシーンに活用することができる。

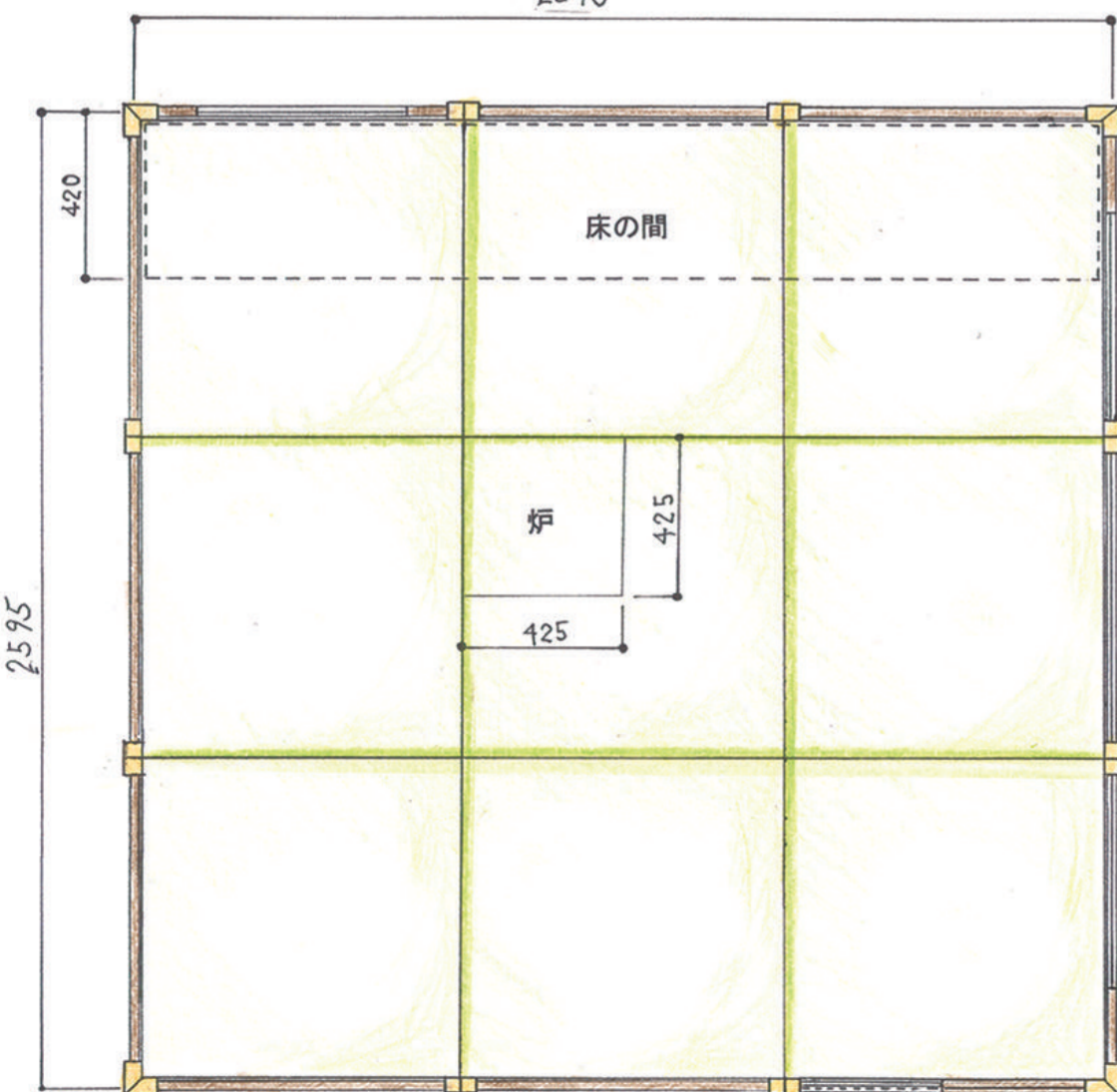
また、茶室の構造木材として、スギ生産量日本一である地元宮崎県産の鉄肥杉を使用することを考えた。外壁下部には木のマグネットパズルを設置し、園児たちが手に取って遊ぶことができ、木を見て感じるだけでなく、木に触れて学ぶことができるようになっている。

様々な場面で使用できるこの茶室は、従来の茶室に見られるような“特別”な存在としてだけではなく、形を自由自在に変えることで、園児たちの“日常生活”の中に溶け込み、木や日本の伝統文化に親しむ機会を与え、子どもたちの豊かな感性を育むための空間を作り出していく。

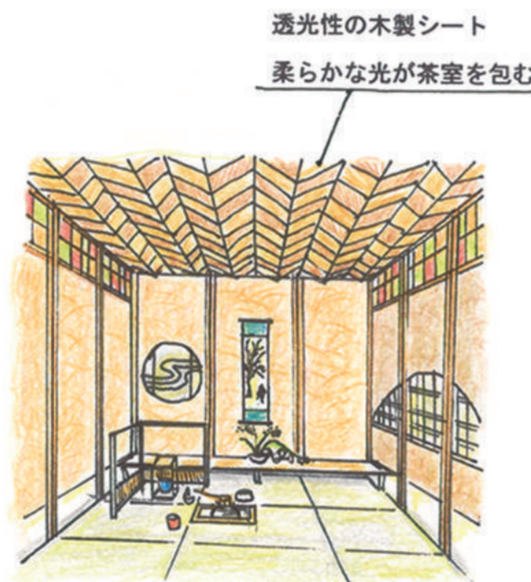
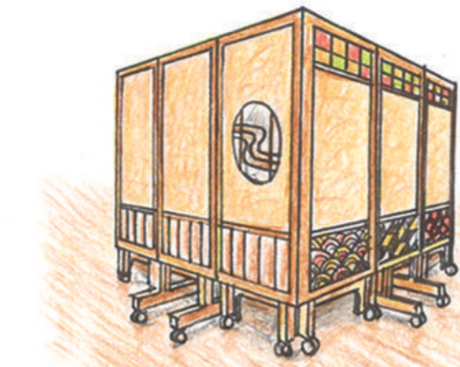
外観パース (躍り口側)



平面図 S=1:20

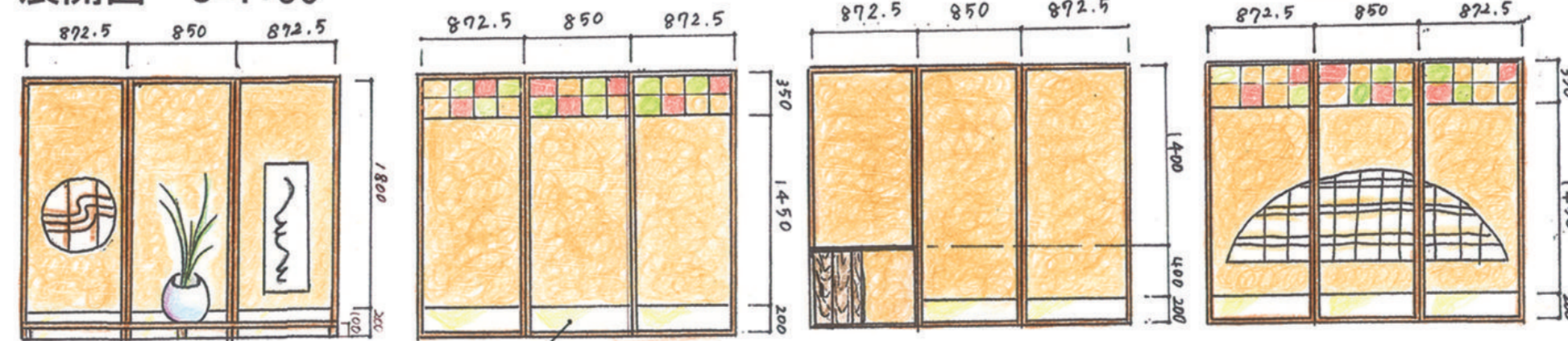


外観パース (床の間側)

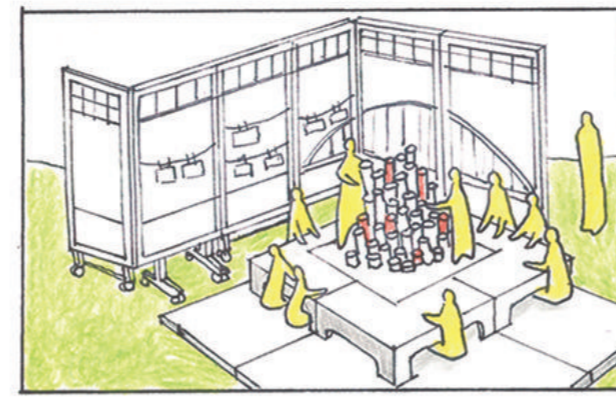
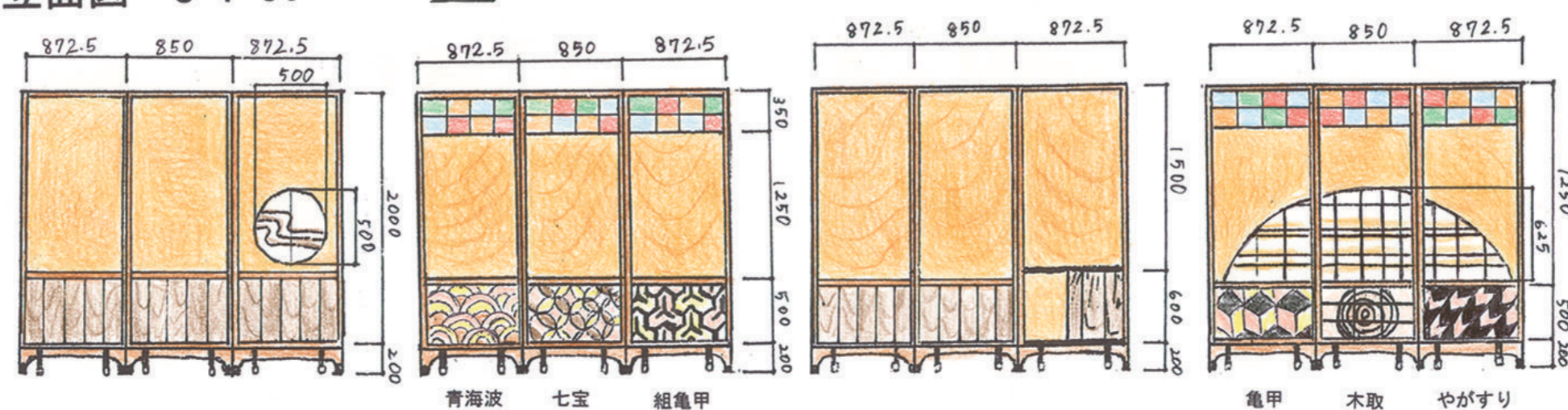


内観パース

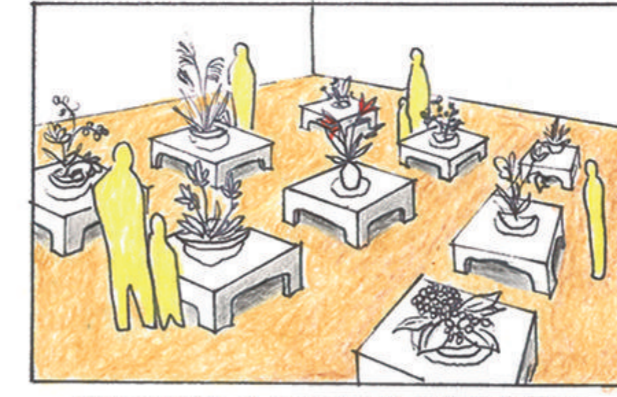
展開図 S=1:50



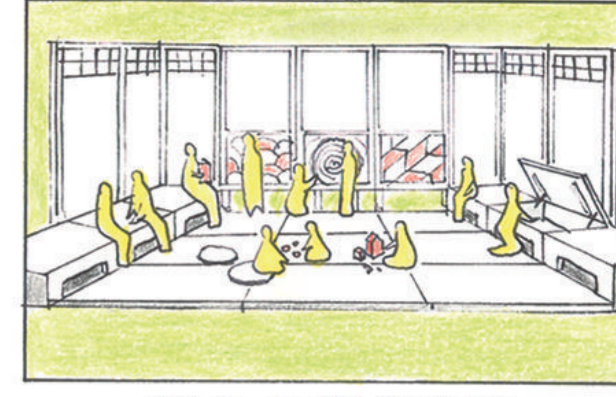
立面図 S=1:50



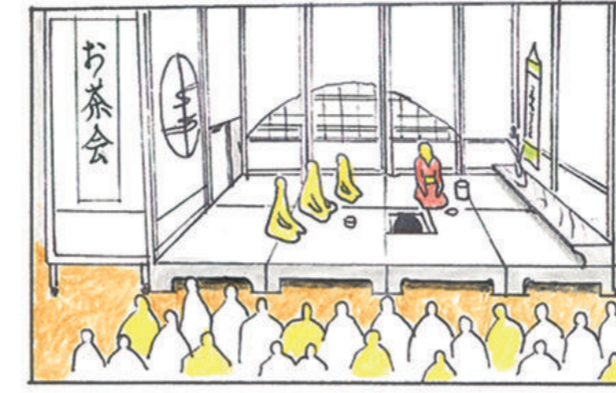
園のみんなで積み木大会



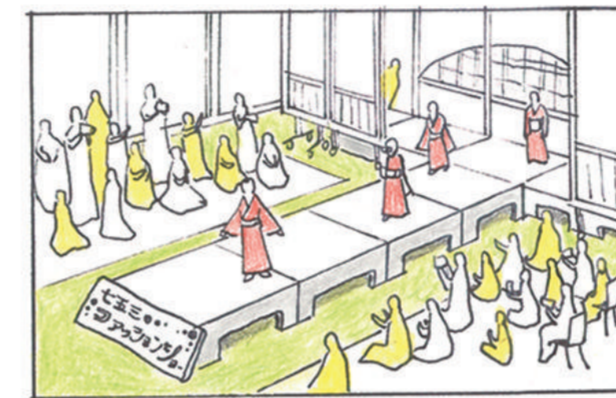
華道で製作した子どもたちの作品を展示



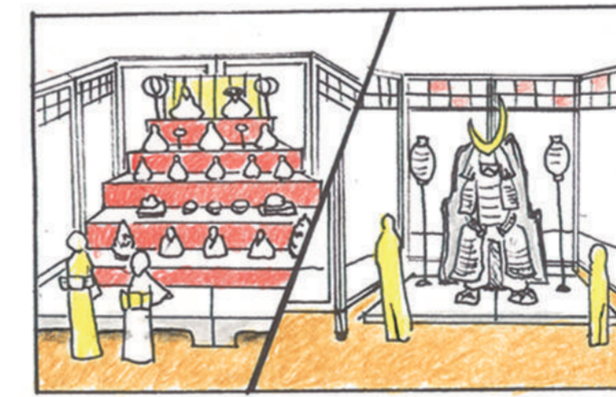
普段使いの子ども達の遊び場



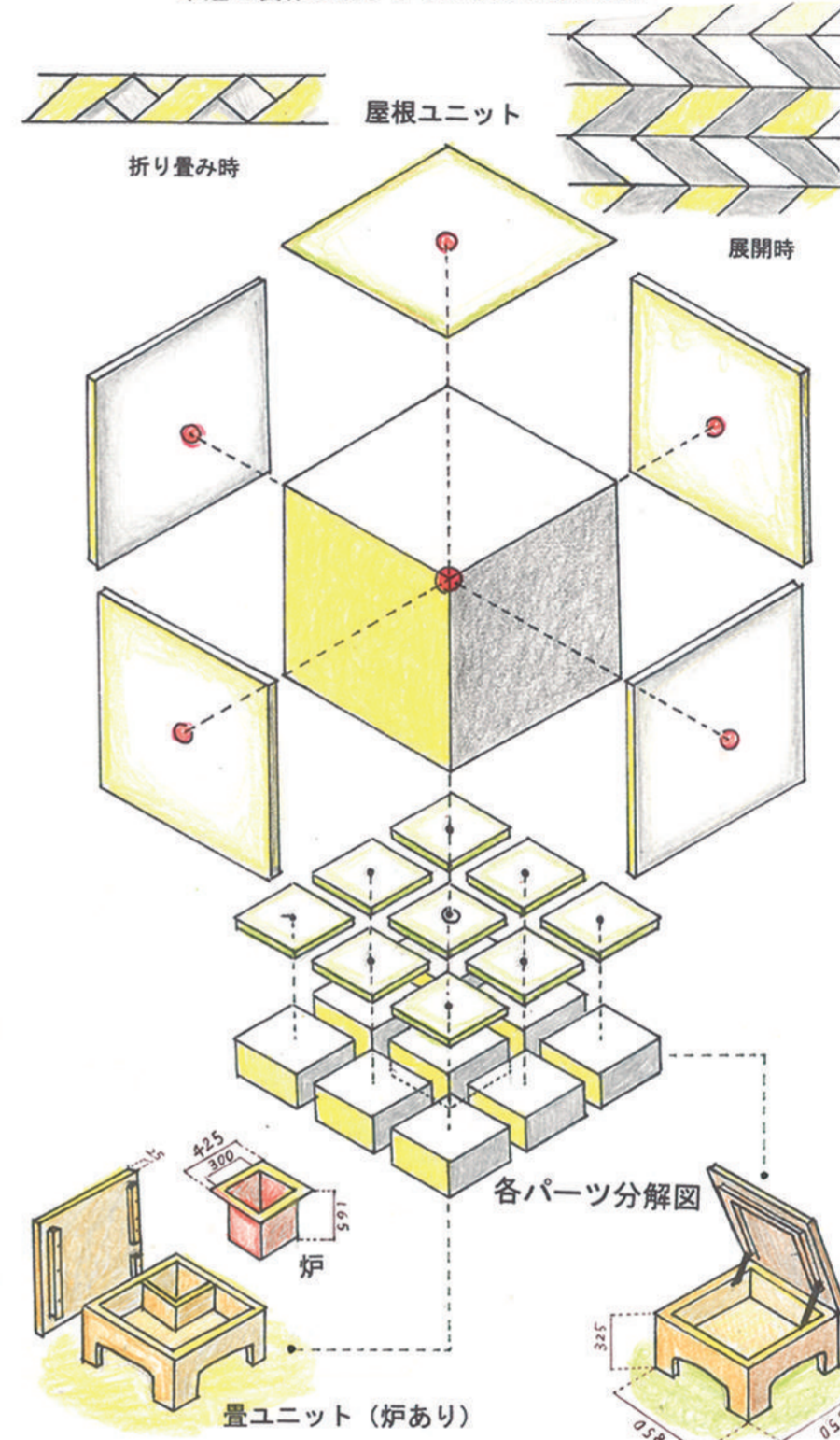
子ども達のお披露目お茶会



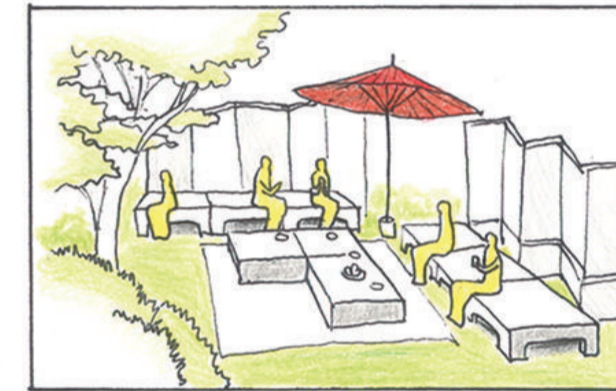
伝統衣装を楽しく気軽に



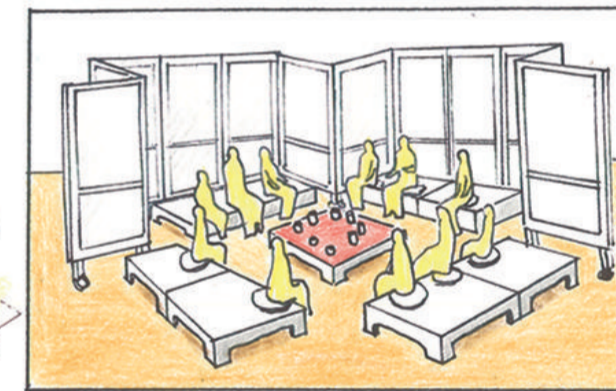
節句物を飾る台座として



テーブルとして 書道や華道を学ぶ



野点風にして まったりお茶会



保護者と先生方との親睦会の場

仕上表

	下地	仕上げ
天井	木製シート (立体的に陰影が出るように折る。折り畳んで収納可)	
床	国産木材使用板材 - 9面 (1面: 850×850×10)	畳 (へりなし) - 9畳 (1畳: 850×850)
壁	国産木材使用板材 - 12面 (1面: 780×1970×8) ・半月窓部分: 竹格子組 (φ10 約30本) ・丸窓部分: 竹を横架 (φ10 3本、曲げ加工) ・枠部分: 国産角材 (太さ45×45) ・枠最下部: 木製キャスター	【室内側仕上げ】 ・木粉塗り壁 ・下部: 塗り壁保護用和紙張り (幅200) ・上部: 木製シート、障子 (着色する) 【室外側仕上げ】 ・木粉塗り壁 ・下部: 国産板材貼り (厚さ5) ・パズル部分: 木目調マグネットシート、パズルピース (さくら・とち・せんだん)
土台	コンパネ (鉄肥杉使用、厚さ12)	